

前中Community School

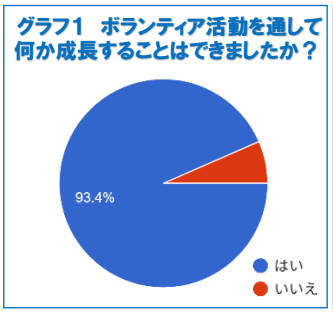
～地域とともにある前原中学校を目指して～

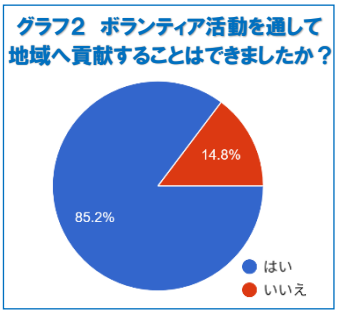
ボランティアの秋 ～人とつながり、だれかの力になる体験を～

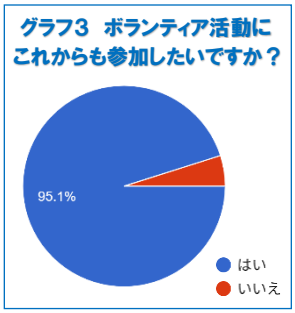


今週の１０月７日（水）は前期終業式です。そして翌日の８日（木）からは、５日間の秋休みに入ります。最近まで「暑い暑い！」とうだるような夏の暑さに悩まされていたのが嘘のように、すっかり季節は秋へと移り変わりました。秋といえば「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」など様々な言葉が思い浮かびますが、前中の秋といえば、やはり「ボランティアの秋」です。この秋休みには、「長糸保育園・笹山幼稚園のお手伝いボランティア」や「南風校区モルック大会スタッフボランティア」などに、合わせて 73 名の生徒がボランティア活動に参加します。普段の学校生活では味わえない出会いや体験を通して、一回り大きく成長した元気な姿で後期のスタートを迎えられることを楽しみにしています。

ここに紹介する３つのグラフは、夏休中にボランティアに参加してきた２４６名の生徒に回答してもらったアンケートを集約したものです。







このグラフからわかることは、ボランティア活動が生徒たちにとって「大きな成長」と「確かな手応え」を実感できる場になっているということです。９割以上の生徒が「成長できた（93.4%）」「これからも参加したい（95.1%）」と回答しており、活動を通じて得た達成感や学びが、次の意欲へと確実につながっています。また、85.2%の生徒が「地域へ貢献できた」と感じており、誰かの役に立つ喜びを実感できたことが伺えます。







「ボランティア活動にどのような魅力を感じていますか？」 夏休みボランティア感想入力フォームより

〇普段関わることがない方と関われるきっかけになる活動で、新しい自分を見つけることができ、今後の自分に自信をつけられるような魅力を感じられました。

〇ボランティアをすることで自分も相手もいい気持ち（嬉しい）になれるのでこれからも続けていきたいです。

〇自分の力になるから、自分のためにもなるし、人が喜ぶため、人のためにもなるから、行って損は絶対にないから、一回だけでもいいから行ってみてください！

〇小さい頃にお世話になった人に「ありがとうございました」の一言で終わることはもったいないと思う。感謝の気持があるのなら行動に移して借りを返すようにボランティアに参加してください。感謝されるのはとても嬉しいからです。

ボランティア活動は、地域に貢献するだけでなく、生徒一人ひとりの自己有用感や意欲を高める最高の学びの場となっています。後期もたくさんの生徒が地域に飛び出し、活躍してくれることを期待しています。